



みんなで創る ほっと わくわく 波佐小学校

波佐っ子だより

令和5年12月号
浜田市立波佐小学校

2学期を終えるにあたって

早いもので、1年間で最も長い学期が終わります。市内ではインフルエンザによる学級・学校閉鎖が相次ぎましたが、本校はほとんど影響がなく、予定通りに充実した教育活動を行うことができました。これもひとえに、保護者の皆様や地域の皆様のおかげです。ありがとうございました。

特に9月には、4年ぶりの「健康づくり波佐大運動会」を開催し、地域の方との交流の意義を再認識することができました。また、波佐文化祭での音楽発表や、二番祭での神楽発表等でも、地域の方からあたたかい応援をいただき、子どもたちは“波佐あい”と大きな充実感を味わうことができました。これからも身近な本物の教材としての「ひと・もの・こと」を活用させていただき、子どもたちの育成に取り組んでいきたいと思っております。引き続き皆様のお力添えをお願いいたします。

何かと気ぜわしい折ではありますが、健康には十分ご留意され、よいお年をお迎えください。来る年が皆様にとってよい年になりますよう、お祈りいたします。

11/18 二番祭



昨年より、子どもたちも二番祭に出演させていただいています。今年は、3～6年生6名が恵比須を奉納しました。学習発表会とはまた違い、近い距離で会場いっぱいの地域の方々に見守られる中、子どもたちもさらにモチベーションが上がっている様子でした。“波佐あい”を育む大変貴重な機会となりました。

11/20 新米を食べる会



学校で収穫した新米を飯盒で炊き、豚汁を3～6年生が作りました。また、1・2年生が育てたサツマイモをサツマイモご飯と焼き芋にしました。昨年は爽やかな青空の下で食べましたが、今年は悪天候のためランチルームで食べました。「うまい、うまい」と、みんなお腹いっぱい食べました。

11/22 ミュージアムスクール



全校で世界こども美術館に行きました。「紙の不思議展」では、たくさんの創造的な作品を鑑賞しました。その後の創作活動では、ダイナミックに新聞紙をつなげ、破き、丸め、最後には大きく長い紙袋に詰めて装飾し、オロチが完成しました。昇降口に飾っています。

11/29 波佐っ子ロードレース大会



今回も、たくさんの方の応援を励みに、子どもたちが力を出し切ろうとがんばる姿が見られました。低学年は、ほとんどの児童が自己新記録を出しました。

12/6 書初め練習会



中尾弘子先生(浜田市習字教育連盟会長)に、1~2年生は硬筆、3~6年生は毛筆を指導していただきました。中尾先生が実際に書かれる様子をしっかりと焼き付け、1枚目からとてもいい字を書けていました。1月16日には校内書初め会をし、五風審査会に出品する予定です。

12/6 人権集会



全校でポッチャをしました。「ふわふわ言葉」がたくさん聞かれ、「励ましてくれた」「負けたけど楽しかった」といった感想もありました。また、朝読書では、「友達」をテーマにした読み聞かせをし、一生懸命に聞いていました。

12/7 金城町高学年交流会～志授業・夢授業～



米子市から立志教育支援プロジェクト実行委員会の松井裕志先生にお越しいただき、6年生が志授業を受けました。事後には、「夢や目標を使命に変えることで、やりとげる力が生まれることがわかりました。…将来自分も誰かの役に立つようなことをしたいです」といった感想があり、自分の生き方について真剣に考える時間になりました。また、本校は5年生がいませんが、5年生は浜田商業高校の生徒5名が各グループで、「がんばっていること」「自分の夢」等をテーマとして語ったり、児童の思いを聞いたりしました。夢に向かってがんばっている(がんばろうとしている)高校生の話はとても新鮮で、子どもたちは真剣に聞き、刺激を受けたようでした。

12/11 手紙の書き方教室



今年も波佐郵便局長の奥本智之さんに、手紙の書き方の授業をしていただきました。「前文」「本文」「末文」を意識して、心のこもった年賀状を書きました。

12/12 稲わらそぐり体験



中谷忠夫さん、河野正則さん、酒井喜代子さん、佐々岡節雄さんにお世話になり、次週のしめ飾り作りに使う稲わらのそぐりをしました。自分たちで材料を整え、しめ飾り作りに向けてモチベーションも高まりました。

12/14 落語体験授業



今年は落語に縁があり、 Grantow の事業として、東京から桂歌若さんにお越しいただきました。前半に歌若さんの落語を聞き、子どもたちは笑い転げていました。後半はワークショップで、「大きな声で、はっきり伝えるポイント」を体験的に楽しく学びました。